

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
 2030年に向けて
 世界が合意した
 「持続可能な開発目標」です

SUSTAINABILITY REPORT 2020



株式会社ヤマヲが貢献を目指すSDGs

株式会社ヤマヲが貢献を目指すSDGs



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

2 飢餓を
ゼロに



12 つくる責任
つかう責任



©2017Ecoutezbien

ターゲット: 2.1 2030年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層および幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食糧を十分得られるようにする。

12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライ

社内目標
(Goal1)
2020年 製造ロス率、終売ロス率に関して、部門毎の目標数値の達成
2025年 食品廃棄によるロスの50%削減
2030年 製造ロス、終売ロス=0にする製造管理システムが確立された会社

社内目標
(Goal12)
2020年 製造によって発生するゴミ(書類、廃棄作業着等)の再利用工程の確立
2025年 環境配慮型素材使用割合60%の達成
2030年 製造に使用する資材全てが廃棄される事無く、循環する仕組みの会社

【2020年度活動実績】

・新型コロナウイルス(COVID-19)が人々の生活と経済活動に大きな影響を与える中、社会インフラであるコンビニに安心安全な商品の提供を続け、お客様の生活を支える社会的な役割を果たしました。今後も安心安全な商品作りを続けてまいります。

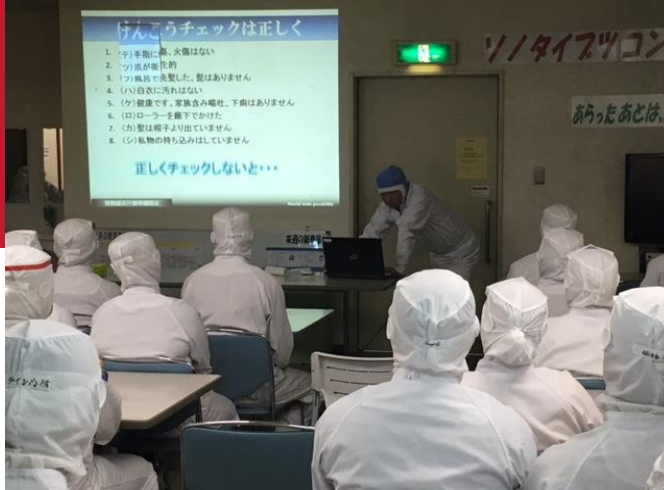
・新たに自動帯掛けシュリンク包装機を3台導入しました。工程を機械化する事により人為的なミス無くし、プラスチック容器・ラベルの無駄な廃棄を削減しました。包材はプラスチック容器が主であり、廃棄を減らすことは世界的な課題です。今後も製造効率だけでなく、環境にも配慮した設備投資を行っていきます。

【2025年度目標達成に向けて】

・包材容器統一によるプラスチック容器廃棄を削減する。
・開発段階にて不要な容器・シート等を減らし、無駄の少ない商品設計を行う 等。

SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

4 質の高い教育を
みんなに



ターゲット: 4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、ディーセント・ワークおよび起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

社内目標 (Goal4)	2020年 外部研修参加による質の高い教育の構築 2025年 全従業員を対象としたeラーニングシステムの確立 2030年 教育を受けた人が、全て教員になれる仕組みが確立された会社
-----------------	---

【2020年度活動実績】

- ・基本的な衛生知識を学習する「衛生講習会」を88回実施し、合計423名が受講しました。
- ・入社後、一定期間を経過した勤務者を対象とした「新人フォローアップ研修」を12回実施し、合計148名が受講しました。
- ・食品の安全性を高める為、専門的な知識・ルールを取得する「ステップアップ研修」を4回実施し、172名が受講しました。

・コロナ禍により、従来の大人数での座学形式の研修会開催が難しくなりました。その中で社員教育に活用されたのは、教育映像の視聴による学習形式です。廊下に設置された大型モニターに教育映像を常時流す事により、教育内容を視覚的に理解する事が可能になりました。今期より、社員有志による教育映像作成チームがスタートし、各教育の映像化を進めています。

【2025年度目標達成に向けて】

- ・社内のデジタル環境の整備による、教育内容の充実
- ・作業工程の映像化による、各人の作業能力の向上

SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



ターゲット: 5.1 あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する

8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用およびディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金を達成する。

社内目標 (Goal5)
2020年 女性外国人実習生の雇用
2025年 プラチナえるぼし認定の取得
2030年 出産等、女性の長期休暇から復帰しやすい環境制度が確立された会社

社内目標 (Goal8)
2020年 年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、その個人の能力が発揮できる職場環境の構築
2025年 年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、平均勤続年数の10%向上
2030年 年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、その個人の能力に応じたキャリアアップができる会社

【2020年度活動実績】

- ・2019年女性社員有志によりスタートした活動である、「Women Smiles Project (WSP)」を継続しています。
- 2021年5月、大きな活動目標であった、女性活躍推進法における優良企業「えるぼし認定」を星3つで受ける事ができました。現在も活動メンバーを増員し、精力的に活動しています。今後は「プラチナえるぼし認定」を目指しながら、女性がより活躍できる会社づくり、働きがいを感じる事ができる会社づくりに取り組んでいきます。

【2025年度目標達成に向けて】

- ・「プラチナえるぼし認定」の取得
- ・年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、平均勤続年数の向上



SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



ターゲット： 7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

社内目標 (Goal7)
2020年 不在時の電気・エアコンOFFを始めとした、従業員全体の節電意識向上
2025年 特定温室効果ガスに関して、年8%以上のCO2排出量削減
2030年 特定温室効果ガスに関して、年17%以上のCO2排出量削減

【2020年度活動実績】

・エネルギー削減に関する目標を各部署が設定し、多くの部署が達成しました。各部署毎にエネルギーの無駄削減に取り組んでいます。課題として多く挙げられたのは、繁忙期である夏場、業務が忙しい時期の機械稼働についてでした。また、あまり人がいない時間帯の電気消灯についても多く課題に挙げられました。会社全体の意識向上の為、日頃からの情報共有・意識共有を図っていきます。

・2019年～2020年にかけて、高効率冷凍冷蔵設備及び照明機器等の導入による省エネルギー事業を開始。各種設備更新を行い、工場全体の電力使用量15%削減を達成しました。設備更新における効果と、日頃からの省エネに対する意識向上により、目標値を大きく超える削減率を達成する事ができました。

【2025年度目標達成に向けて】

・省エネルギー事業の継続と効果確認
・会社内研修にエネルギーに関する教育を取入れる 等。

ISO22000/FSSC22000



<http://www.audis.jp/client.htm>
<http://www.jas-anz.org/register>

株式会社 ヤマヲ

SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

【2020年度活動実績】

10 人や国の不平等
をなくそう



ターゲット： 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント、および社会的、経済的、および政治的な包含を促進する。

社内目標 (Goal10) 2020年 外国籍従業員の教育内容整備
2025年 多文化共生の取り組みを通して、技能実習生・特定技能従業員の法令違反0件
2030年 国籍関係無く十分な職業教育が受けられ、活躍できる会社

・新たに外国人技能実習生を15名受入れしました。技能実習生の受け入れも4回目となり、合計39名が在籍しています。弊社では外国人技能実習制度の目的に則り、無事故無違反を前提に制度を利用しています。昨年、外国人技能実習制度における「優良な実習実施者」の基準を満たす事ができました。

・在留資格「特定技能」ビザに関して、登録支援機関の認証を受け、「特定技能」ビザにて就労を希望する外国人材のサポートを行っています。自社にて技能実習を修了した方、他社からの転職を合わせ、現在50名近くの「特定技能」ビザの方が在籍し、製造の中核を担っています。また、外国人材の日本語教育の場として、週1~2回、日本語講師を外部から招き、「ヤマヲ日本語学習塾」をスタートしました。一般会話、日本語能力試験対策、日本の文化を、各自が楽しみながら学んでいます。

【2025年度目標達成に向けて】

・コロナウイルス対策を含め、外国人材の勤務・生活の安定を図る。
・市町村、入国管理局に対しての手続き体制を強化、法令遵守と生活の安定を図る。

社内目標（2020年）への取り組み報告

社内目標 (Goal2) 2020年 製造ロス率、終売ロス率に関して、部門毎の目標数値の達成

多くの部署にて目標数値を達成。
(主な取り組み)⇒容器統一によるゴミ削減等

社内目標 (Goal12) 2020年 製造によって発生するゴミ(書類、廃棄作業着等)の再利用工程の確立

多くの部署にて目標数値を達成。
(主な取り組み)⇒自動帯掛け機の増台等

社内目標 (Goal4) 2020年 外部研修参加による質の高い教育の構築

コロナ禍により外部研修は自粛。
(主な取り組み)⇒大型モニター活用による教育

社内目標 (Goal5) 2020年 女性外国人実習生の雇用

2020年12月に目標達成。
(主な取り組み)⇒「えるぼし認定」の取得等

社内目標 (Goal8) 2020年 年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、その個人の能力が発揮できる職場環境の構築

概ね達成できている。
(主な取り組み)⇒障害者雇用・女性管理者の増員

社内目標 (Goal7) 2020年 不在時の電気・エアコンOFFを始めとした、従業員全体の節電意識向上

工場全体の電力使用量15%削減を達成。
(主な取り組み)⇒省エネルギー事業の開始等

社内目標 (Goal10) 2020年 外国籍従業員の教育内容整備

2020年10月に目標達成。
(主な取り組み)⇒外部講師による日本語塾を開始